科目名	法実践演習入門						
科目担当者	宮田 浩史　　MIYATA Hiroshi						
単位数	1	配当年次	1年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	法学部・法律学科［専門教育科目　関連科目］ 他学部他学科履修〇					ディプロマポリシーとの関連	(2)(3)
授業の概要	本科目は、講義として、資格試験受験に必要なレベルを体験させることを目標の一つとしています。すなわち、法律を学び、実務で役立つためには、①文章読解レベルを上げる、②問題回答レベルを上げる、③条文・判例の重要性を認識する、ことがベースとして必要となると考え、基本的な参考書を読みつつ、問題を解くことで、大学生活の中で資格取得に向けた学修レベルを身に着けるために必要なことを体験できるようにしたいと考えています。 内容としては、公法系・民事系・刑事系について、バランスよく全体を見渡せるようにし、基本的な理解が構築できるようにしたいと考えています。 なお、各自がノートPCを持参して双方向的な授業を実施する予定です。						
授業の到達目標	①文章読解レベルについては、法的論理を前提として、条文や判例を踏まえた文章理解力が問われるという感覚を身に着けること。 ②問題回答レベルとしては、各種資格試験のレベルに応じて求められるレベルは異なるものの、最低限必要なレベルとして、科目に応じた基本的なレベルがあることを体感すること。 ③条文・判例について、どの程度意識して学修することが求められるのかを体感すること。 ④講義を通じて上記①②③を体感すると同時に、自律的な学修体制を自ら構築すること。						
授業計画・内容	1	イントロダクション（法律を学び、実務に生かせるレベルを身につけるには）・法的説得の論理展開について					
	2	公法系入門①（憲法総論）					
	3	公法系入門②（憲法人権）					
	4	公法系入門③（憲法統治・行政法入門）					
	5	公法系入門④（問題演習にチャレンジ）					
	6	民事系入門①（民法契約法①）					
	7	民事系入門②（民法契約法②）					
	8	民事系入門③（民法不法行為法・家族法）					
	9	民事系入門④（商法）					
	10	民事系入門⑤（問題演習にチャレンジ）					
	11	刑事系入門①（刑法の基本構造）					
	12	刑事系入門②（刑法総論）					
	13	刑事系入門②（刑法各論）					
	14	刑事系入門③（刑事手続・民事手続その他裁判手続きについて）					
	15	刑事系入門④（問題演習にチャレンジ）					
授業外学修 (事前学修)	事前の学修としては、指定した教科書の該当部分を読んでくることに加え、指定した問題を自ら解いてくることが必要です（適宜指示します）						
授業外学修 (事後学修)	事後の学修としては、関連する問題を自ら解いてみることや、教科書の該当箇所をさらにもう一度読み直すことが効果的です。						
成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法			評価比率		到達目標との対応	
	定期試験での評価が基本となるが、習熟スピードなどをみて、小テスト等の実施を行います。			評価試験 60% 小テスト等 40%		①②③ ①②③	
成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合						
教科書	『2025 年法学検定試験問題集ベーシック＜基礎＞コース』						
参考文献	ポケット六法（令和 7 度版）、その他適宜指示します。						
その他	授業中に常時ノートＰＣを利用するので、授業の際、各自パソコンを持参してください。						